豊島区議会議員 細川正博 活動レポート Vol. 032 令和 2年夏号

ファーストの会

豊島区議団・民主の会

子供たちの世代へ責任ある政治を!! 巣鴨小OB。豊島に恩返し。

〒170-0005 豊島区南大塚 1-51-17 Mail info@hosokawamasahiro.jp TEL 03-3945-2530 FAX 03-6774-8774

- ・政策等の詳細、日々の活動は HP/Blog/Facebook/twitter にて発信中!
- 活動レポートをお届けします、ご希望の方はご一報ください。 バックナンバーは IIP でご覧いただけます。



【細川正博(ほそかわまさひろ)・略歴】 昭和53年10月、豊島区南大塚生まれ。平成23年初当選、現在3期目。 都民ファーストの会豊島区議団・民主の会幹事長、環境・清掃対策 調査特別委員会委員長。巣鴨幼稚園、巣鴨小学校、法政大学法学部 政治学科卒。サラリーマンとして約10年勤務。3児の父。

7/5 に執行された東京都知裏選挙では、現職の小池ゆりこ知裏が歴代2番目の 得票で2選目を果たしました。以前の出馬の際にも小池知事をサポートした 私にとっても、小池都政の信任は嬉しいと同時に身が引き締まる思いです。 小池都政が安定したことで、都政と区政は以前よりも身近になったと感じて います。引き続き都政と区政の連携を深めていく所存です。

委員長就什

会派では代表である幹事長を昨年に引き続き務めることとなりました。 **議会では環境・清掃対策調査特別委員会の委員長に就任しました。** 環境・清掃の分野は多岐に渡る上、すぐに成果が見えづらい面が ありますが、本区が選定された SDGs 未来都市の取組みには不可 欠です。取り上げるテーマを工夫して委員会の活性化を図ります。



議会改革の議論は継続して行っています。裏務局職員によるお茶出し廃止も 臘夏の一つ。私たちを含む殆どの会派がマイボトルなどへの切替を主張、一 つの会派のみ事務局準備の飲料をセルフで配布する方法を主張し、現在は併



存中…中々進まないテーマもあります。一方で私たちの会派 が提案したオンライン会議は正副幹事長会で検討中で、会派 代表や全議員での実証実験などを重ねています。コロナ禍に おける危機管理のためにも、早期実現をしたいです。

区民生活や地域経済の苦境を踏まえ、会派では5回に渡り新型コロナ関連の 要望書を区へ提出し、様々な要望や提案などを行ってきました。区の対応は 私の一般質問で確認した他、随時 blog でもご紹介しています。

緊急事態宣言前後の外出自粛期間は、地域のお店へヒアリングすると共に、 支援策のご案内などを行っていました。制度の周知がまだまだ徹底されてい ないと感じます。お困りごと、ご相談はお気軽にお寄せ下さい。

2度の臨時会を開催 新型コロナ関連補正予算、議会人事などが決まる

5/11 の第 1 回臨時会では、新型コロナへの対応関連の第 1 号補正予算(一般会計で約 321 億円。特別定額給付金、小中学校 1 人 1 台タブレット整備、PCR 検査センター関連など)や関連の条例改正などの審議。5/25 の第 2 回臨時会では、正副議長選出や所属委員会などが決定。私の所属委員会は以下の通りです。

議会運営委員会(会派幹事長)、常任委員会・・・総務委員会、

特別委員会…環境・清掃対策調査特別委員会(委員長)、豊島副都心開発調査特別委員会

第2回定例会 補正予算、落書き防止条例など可決、提案理由説明や一般質問で登壇

6/16 ~ 7/15 が会期。定例会初日には、私たちの会派などが提案した「性暴力の根絶を目指す決議」「性犯罪に関する刑法規定の見直しを求める意見書」が賛成多数で可決。提案理由説明は、私が行いました。

総務委員会では、補正予算第2号(一般会計9.56億円。ひとり親世帯臨時特別給付金など)、同第3号(一般会計1.29億円。区独自の障害福祉・介護サービス事業者、ひとり親世帯などへの支援策)などを審議。その他、23区初となる落書き防止に特化した条例を可決しました。

新型コロナ関連に絞った一般質問

6/23 の一般質問に登壇しました

(詳細は blog に記載。QR コードからアクセス可能です。)



表題「新型コロナウイルス対策~with コロナ・after コロナへの対応¥

- (1) 財政の見通し(コロナショック後の区財政、学校施設更新の方針など)
- (2) 救援センターの運営(新型コロナに対応した救援センター運営など)
- (3) 事業者支援策 (情報周知徹底とサポート、介護事業者への独自支援策)
- (4) 路上利用による地域活性化(11 月迄限定での道路占用許可基準緩和に伴う路上利用を進めるべき)
- (5) 文化事業への支援(文化事業の担い手への支援策を講ずべき)
- (6) 池袋西口公園ライブサイト (延期された東京 2020 大会での 5G 対応)
- (7) 児童生徒の学びの保障(オンライン教育、最高学年の修学旅行等の実施可能性模索すべきなど)
- (8) 図書館の活用(電子図書館サービスの拡充)
- (9) その他(ひとり親家庭への独自支援を講ずべき)

議長席と演壇には飛沫防止 対策でアクリル板を設置。

新型コロナウイルス感染症の影響を受けた区財政の見通しについて

新型コロナの影響は広範に及んでおり、区民生活や地域経済に深刻な打撃を与えています。歳入の大幅減が想定される上、コロナ関連の対策費や、生活が厳しくなった方への福祉関連費用の増大など、歳出増を見込まねばなりません。「この先複数年に渡ってリーマンショック(当時 50 億円超の減収)を超える大幅な減収が続く事態を想定する必要がある」という大変厳しい区の想定もあります。R2 年 7 月現在の"借金"に当たる起債残高は287.7 億円、"貯金"に当たる特定目的基金残高は315.7 億円(そのうち、財政調整基金残高199.4 億円)。

新型コロナへ必要な対策経費は捻出しつつ、財源確保に努める必要があります。今後、一般行政経費の見直し(既に減額補正済みの予算もあります)、事業の着手時期延長、戦略的な起債発行などの策を講じます。

策定中の学校施設の長寿命化計画にも影響がありそうです。既に着手している池袋第一小の整備計画には影響ありませんが、その他はこれからの検討とのこと。子供たちの学びの場であると共に、災害時には救援センターの役割を果たすことから、学校施設更新は一時的な財政悪化で先送りすべき事業ではないと私は考えます。

区民の生活や働き方の前提条件が変わる中で、極力庁舎へ足を運ばず済む工夫、手続きの簡素化、情報の届け方など、行政サービスのあり方なども、必要に応じた変化が求められます。今後はこれまで以上にメリハリのついた財政運営が求められるという問題意識を持ち、今後も注視します。